

第8回全日本教育系学生バドミントン選手権大会について

競技役員長 関口 諒 (筑波大学)

今回、競技役員長として大会運営に携わる中で、普段選手として参加している大会にはどのような人たちが関わっていて、そこにはどんな苦労があるのかということをも身をもって感じることができました。例えば、参加者を募る際にはホームページで案内を出すだけでなく、SNSなどで告知をするなど、時代に合わせた方法を取らなければなりません。また、大会当日は会場設営から受付、試合のコール、賞状の作成までのありとあらゆる仕事を統括する必要があり、教職員連盟の方々や大会役員である他の学生の協力なしには成功することはできなかつたのだらうと感じました。大会をより良いものにするためには今まで以上に俯瞰的な視点が必要であるということも感じました。得点版については見に来てくださる観客の方々の視点に立てば、試合の進行度合いを把握するためにあるべきものです。また、準決勝・決勝戦のコートについても応援する方々が応援しやすいように、その方々の視点に立って決定する必要があります。どれも1人では決定が難しい問題ばかりであり、そうした点からも様々な方々に協力していただけたことで乗り越えることができたと感じています。

今回の経験は、これからの大会に選手として参加する際に今まで気づけなかったことについて気付ける視点を与えてくれると同時に、将来教職についた際にも活かすことができるのではないかと感じています。

期日：平成30年12月22日(土)
12月24日(月・祝)

会場：葛飾区奥戸総合スポーツセンター体育館
葛飾区水元総合スポーツセンターアリーナ

男子シングルス

優勝 土平 孟 (筑波大学)
準優勝 森田新太郎 (筑波大学)
3位 青木 流風 (東京情報大学)
〃 春成 星哉 (筑波大学)

男子ダブルス

優勝 鈴木 利拓・森田新太郎 (筑波大学)
準優勝 森田 浩平・山口 慎人 (中京大学)
3位 土平 孟・田場 盛吾 (筑波大学)
〃 下関 元・坂東 拓哉
(東京理科大学・専修大学)

女子シングルス

優勝 川村芽生奈 (共愛学園前橋国際大学)
準優勝 香山 未帆 (筑波大学)
3位 中田 真由 (作新学院大学)
〃 日野 嘉与 (作新学院大学)

女子ダブルス

優勝 安田 美空・香山 未帆 (筑波大学)
準優勝 大関 令奈・山中 芹里 (筑波大学)
3位 村谷 唯菜・伊藤 望愛 (東京女子体育大学)
〃 甲斐 夏美・川崎 幸優 (東京情報大学)



【役員・幹事校】